

取扱説明書 Ver 1.00

このたびはスノーピーク製品をお買い上げいただき誠にありがとうございます。この製品は、キャンプ用就寝マットです。安全にご使用いただくために必ずこの取扱説明書をよく読んでからご使用ください。また、読み終わった後も大切に保管してください。製品は万全を期しておりますが、ご使用前に以下に安全な場所で組立、取扱い方法及び付属品の確認をしてください。取説内容で理解できない点及び製品に不具合が確認された際には、直ちに使用を中止しご購入いただきました販売店様もしくは弊社ユーザーサービスまでお問い合わせください。

ご使用前に

よく読んで予測される事故を回避し安全にご使用ください。

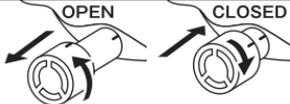
注意 ケガや本体破損、物品破損として拡大被害の原因となる行為を示します。

- 購入時に収納ケース内で本体が膨らんでいない事を確認してください。(収納ケースから非常に取り出しにくい場合は本体がエア漏れしている可能性があります) ●水や多くの湿気を受けた状態での保管および直射日光に長時間当たると、生地劣化が急速に進み破損の原因となります。●水や多くの湿気を含んだ状態での保管および汚れが付着したままでの保管はカビの発生原因となります。汚れを落とし、十分に乾燥させてから保管してください。●製品の上で膝や腕、空気を抜く際に急激な動作や圧力を加えないでください。穴あきや内部部品などが裂ける(修理不可)原因となります。●ご使用の際、着衣の金具などで本体を傷つける可能性があります。●新品状態、寒冷地および長期期間使用した場合、バルブを開けても十分に膨らまない場合があります。●製品を外気温と洗浄時のお湯な42℃を越えた状況で保管または使用しないでください。熱によりフォームと生地の接着が剥離する可能性があります。●水上に浮かべるなど浮き輪の代用として利用しないでください。●ポンプ収納ケースでマット本体に空気を注入する際、接続部では構造上多少の空気漏れは発生します。●エアマット使用時は尖った石(や木の枝、ベットのツメなど)が刺さらないようご注意ください。●エアマットに高温の物(熱い鍋など)や火の元に当たらないようご注意ください。また、上で使用しないでください。●空気の入れすぎや空気が十分に入った状態でエアマットを折りたたんで使用しないでください。内部の素材の破損の原因となります。●日中、テントまたは日光の当たると可能性がある場所で使用する場合は、ノズルを開けてください。高温で内部の空気が膨張し、内圧が高くなるとエアマットの破損の原因となります。●エアマットに空気を入れる場合はマットが自然に膨らむ機能を利用するかポンプ機能のある収納ケースが付属している場合は収納ケースのポンプ機能を利用して空気をください。呼吸によりマットに空気を入れると呼吸に含まれる水分がTPU層を傷める可能性があります。呼吸によりマットを膨らませないようにください。特にアルコール分を含んだ呼吸はTPUに深刻なダメージを与えますのでご注意ください。

空気の入れ方

エアマットを平らな場所に置き、反時計回りにエアマットのノズルを回すと、マット内部のクッション材の反発力により自動的に空気が入ります。約10～15分経過するとエアマットに空気が入った状態になりますのでノズルを時計回りに押しながら締めれば使用可能です。空気口を閉じる際はノズルの目印と本体の目印が合っているか確認してください。ノズルの締めすぎはノズル本体を破損する原因となりますので注意してください。(初めてエアマットを使用する時は、以下の説明を参考に使用してください。)

初めてエアマットを使用する時、または長期間使用しなかったエアマットを使用する場合は、エアマットに完全に空気を入れるのに時間がかかります。必要に応じて、エアマットの空気の入入れを2～3回行ってください。マットに自動的に空気を入れた場合に膨らみが足りないと感じた場合は、収納ケースにポンプの機能が装備されている製品ではケースのノズル接続口にノズルを差し込んで空気を入れる事が可能です。(ポンプ機能を使わない場合:エアマットに自動で空気が入った約3～5分後にノズルを締め、空気をノズル方向から奥まで押し込みます。その後再度ノズルを開いてエアマットに空気を入れます。この動作を2～3回繰り返す事でマット内部のクッション材の反発力が回復し、より空気が入りやすくなります。) マットに入れる空気量はマットの上に仰向けに寝た時に(セローの場合は頭を乗せた状態、座布団の場合は座った状態)体の一部が地面や床面に触れない程度に空気が抜かれた状態です。※空気の入れすぎはマット破損の原因となりますのでご注意ください。



収納方法

ノズルを開いて、エアマットを三つ折りにした後、エアマットの上に座り内部の空気を出します。空気が出る音が聞こえなくなったら、ノズルを締めエアマットの端からノズルの方向に向けて巻き取るようにたたみます。空気が再びノズル付近まで来たら、再度ノズルを開いて空気を出し、その後ノズルを再び締めます。以上のステップを繰り返せばエアマットの収納体積がより小さくなります。マットを運搬または収納する際は必ずたたんで収納ケースに収納してください。

お手入れ方法

- エアマットを使用しない時は、空気の入った状態でも保管可能です。空気が入った状態で保管する場合はマットの上の物を載せずに風通しの良い涼しい室内に立て掛けるように保管してください。キャンプなどで外へ持っていく際は、エアマットを収納ケースに入れてお持ちください。このようにすることで、マット内部のクッション材の復元性が保たれます。使用後は、エアマットを十分に乾燥させてから保管してください。本製品は環境保護のため空気の保持層にTPU(熱可塑性ポリウレタン樹脂エラストマー)を使用しています。高湿の環境はTPUが破損する原因となり、空気漏れの原因となります。乾燥状態を維持することで素材の性能を保持し、カビなどの発生も防ぎます。
- 製品の表面が汚れた際には、中性洗剤で洗ってください。洗った後はすぐに乾かし、完全に乾いてから収納してください。(表面を洗い流す際にノズルから水分がマットの内部に入り込まないように注意してください。)

修理に関して

- マットを破いたり穴を開けてしまった場合は、付属のリペアキットで補修してください。補修方法に関してはこちらのリペアキットに付属している修理方法をご覧ください。
- ご自分で修理するが困難な場合は、お買い上げの販売店または弊社ユーザーサービス係までお問い合わせください。
- 補修パッチで覆えない大きさの切れ目や穴は補修できません。

品質保証について

お買い求めいただきました製品は万全を期しますが万一不備な点がございましたら、お買い求めの販売店様または弊社ユーザーサービスまでご連絡ください。製造上の欠陥の場合は無償で修理または交換させていただきます。その他の場合は適正な価格で修理させていただきます。修理・交換の判断は弊社の裁量によるものとさせていただきます。また、以下の場合は保証、修理できない場合もありますので、あらかじめご了承ください。

1. 素材の経年劣化による損害などの製品の寿命
2. 改造及び乱雑な扱いによる故障
3. 取扱説明書で禁止されている取扱いによる故障
4. 不慮の事故による製品の故障
5. その他製造上の欠陥以外による製品の故障
6. ゴミさびによる故障
7. 分解したことによる故障
8. 落下やその他衝撃による部品の変形や破損による不具合
9. 摩耗によるパーツの变化およびそれによる故障
10. 他社製品との組み合わせによる故障

販売点やお支払いの点がございましたら、販売店様または弊社ユーザーサービスまでお問い合わせください。

スノーピークユーザーサービス

☎ 0120-010-660

(9:00～17:00)

Email:userservice@snowpeak.co.jp